

令和5年度 学校評価アンケート（2回目）結果

番号	質問内容	対象	質問	<p>令和5年度1回目（令和5年7月実施） 令和5年度2回目（令和5年12月実施）のものを示しています。 ※全ての数値を合計しても100%にならない場合は、小数点以下を四捨五入しているためです。</p> <p style="text-align: center;">┌──高評価──┐ ┌──低評価──┐</p> <p style="text-align: center;"> あてはまる ほぼあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない 分からない </p>
1	教育方針の周知 【総務】	保護者	学校は、教育方針（本年度の重点目標等）を分かりやすく伝えている。	<p>R5① </p> <p>R5② </p>
		学運協	学校は、教育方針（本年度の重点目標等）を分かりやすく伝えている。	<p>R5① </p> <p>R5② </p>
		<p>学校の様々な行事については、随時おたよりやホームページでお知らせしてきました。年度初めほど「教育方針」について言葉で説明することはありませんでしたが、学校行事等を通じて、学校の考えは伝わっているのではないかと思います。年度末に向け、本年度の振り返りと来年度に向けた方針も（PTA役員会等で）お示しできたらと思います。</p>		

2	学校生活への取組 【健やかな心と体】	児童	自分は学校に来て勉強したり、友達と遊んだりするのが楽しい。	R5①	
				R5②	
		保護者	お子さんは、学校で楽しく学習したり、友だちと遊んだりしている。	R5①	
				R5②	
		職員	子どもたちは、楽しく学習したり、友だちと遊んだりしている。	R5①	
		R5②			
		学運協	子どもたちは、学校で楽しく学習したり、遊んだりしている。	R5①	
				R5②	
<p>全体的に数値は下がっています。児童の学習面や生活（遊び）面を見て、楽しそうに過ごしているように見えますが、見えない部分もあると捉え、楽しく学校生活が送れる子どもが増えるよう指導に工夫していきたいと思ひます。</p>					

3	学習指導 【確かな学力】	児童	先生は、勉強内容がよく分かるように教えている。	R5①	
				R5②	
		保護者	学校は、基礎的な学力（学習内容）が身につくように取り組んでいる。	R5①	
				R5②	
		職員	自分は、基礎的な学力（学習内容）が身につくように取り組んでいる。	R5①	
		R5②			
学運協	学校は、基礎的な学力（学習内容）が身につくように取り組んでいる。	R5①			
		R5②			
<p>授業の中で「わかった」という思いをもつ児童が増えたように感じています。また、別でとった「学びに向かう力に関するアンケート（6月・1月）」でも、多くの項目で肯定的評価が増えています。職員は全校体制で授業改善を日々研究してきました。そこが、児童・職員の数値で現れたと思います。引き続き、基礎的・基本的な力がつくような取組を継続したいと考えています。</p>					

4	家庭学習 【確かな学力】	児童	自分は、家庭学習（低学年20分以上、中学年40分以上、高学年60分以上）をしている。	R5①	
				R5②	
		保護者	お子さんは、家庭学習（低学年20分以上、中学年40分以上、高学年60分以上）をしている。	R5①	
				R5②	
		職員	子どもたちは、家庭学習（低学年20分以上、中学年40分以上、高学年60分以上）をしている。	R5①	
				R5②	
<p>学年相応の家庭学習の時間を児童が工夫して行いつつあります。学校の取組としてはノート展を行い、自主学習の手本となるノートを展示したり、各学級で手本となる自主学習を紹介したりしてきました。家庭学習の目的や役割を再度、児童と確認しようと思います。個人差もあるので学校からの宿題では足りないお子さんにつきましては、家庭でアドバイスをお願いします。</p>					

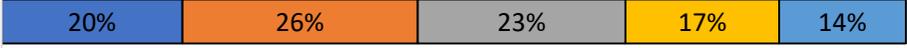
5	読書活動 【確かな学力】	児童	自分の目標を達成できるように読書をしている。	R5①	
				R5②	
		保護者	お子さんは、自分の目標が達成できるように読書をしている。	R5①	
				R5②	
		職員	子どもたちは、自分の目標が達成できるように読書をしている。	R5①	
				R5②	
<p>読書週間前に、取り組みの目的や内容を子どもたちと確認する時間を設定したことにより、以前より意識して読書に取り組んでいたように感じました。また、図書委員会発信による「読書ウォークラリー」や「読み聞かせ」など児童が主体的に取り組んだ活動が「本を読もう」という思いにつながったと思います。子どもたちはお話ぼっこやお話宅急便などの読み聞かせも楽しみにしているので継続できたらよいと考えています。</p>					

6	子どもへの評価 【確かな学力】	児童	先生は、話をよく聞いてくれたり、がんばったことをほめたりしてくれる。	R5①	
				R5②	
		保護者	学校は、子どもの話をよく聞き、がんばったことをほめている。	R5①	
				R5②	
職員	自分は、子どもたちの話をよく聞き、がんばったことをほめている。	R5①			
		R5②			
<p>子どもたちががんばっていることや友達を思いやった言動など、機会をとらえて具体的な言葉かけやがんばりを認めてきました。委員会活動や授業においても、子どもたちの話を聞きながら、自発的な活動がより行われるようにもしました。週1回行う生活アンケートにある友達のよさを見つけるみず♡ハートは子ども同士だけでなく、職員が書くことも継続して行いたいと思います。</p>					

7	異学年交流 【健やかな心と体】	児童	自分は、ふれあい班でお互いの良さを認めて、仲良く協力して活動している。	R5①				
				R5②				
		保護者	お子さんは、異学年の友だちのよさを認め、協力して登下校したり活動したりしている。	R5①				
				R5②				
		職員	子どもたちは、ふれあい班でよさを認めて協力して活動している。	R5①				
				R5②				
		<p>1学期に比べて異学年との生活に慣れてきて、以前にも増して仲良く協力し合う姿が増えています。また、上学年の児童が下学年に優しくする場面をよく見かけます。これからも異学年での交流の機会を積極的に設けていきます</p>						

8	あいさつ活動 (ぽかぽかあいさつ) 【健やかな心と体】	児童	自分から先に、相手を見て笑顔であいさつができています。	R5①	
				R5②	
		保護者	お子さんは、自分から、相手を見て笑顔で気持ちの良いあいさつをしています。	R5①	
				R5②	
		職員	子どもたちは、自分から、相手を見て笑顔で気持ちの良いあいさつをしています。	R5①	
			R5②		
		学運協	子どもたちは、地域の人にもよく(自分から、相手を見て笑顔で)あいさつができています。	R5①	
				R5②	
<p>学校運営協議会の皆様のご協力で行っているあいさつ活動のおかげで校外ではぽかぽかあいさつをしている児童が増えてきています。しかし、1学期同様に児童の評価は高いものの、保護者の方や教職員は、「もう少し自分から相手を見てあいさつをしてほしい」と願っています。引き続き学校でも指導しますので、ご家庭でもお声がけをお願いします。</p>					

9	思いやりのある言動 (ふわふわことば) 【健やかな心と体】	児童	自分は、相手を思いやった行動や言葉がけができています。	R5①	
				R5②	
		保護者	お子さんは、相手を思いやった言動や言葉がけができています。	R5①	
				R5②	
		職員	子どもたちは、相手を思いやった言動や言葉がけができています。	R5①	
			R5②		
		学運協	子どもたちは、相手を思いやった行動や言葉がけができています。	R5①	
				R5②	
1学期と比べて、学校生活でも下学年に優しく接したり、友達同士で思いやる姿も増えています。児童が生活アンケートに書く友達の温かい言動の幅も広がっています。児童がより優しい言葉遣いができるように、引き続きお昼の放送等で全校に啓発していきます。					

10	体力作り 【健やかな心と体】	児童	自分は学校や家で体力作りのための運動に取り組んでいる。	R5①				
				R5②				
		保護者	家庭でお子さんと体力作りの運動を行っている。	R5①				
				R5②				
		職員	自分は、子どもたちの体力作りとなる運動に取り組ませている。	R5①				
				R5②				
		学運協	学校は、体力作りに取り組んでいる。。	R5①				
				R5②				
		<p>持久走大会やなわとび大会に向けて、児童がそれぞれ目標をもって取り組んだ結果、体力作りに繋がりました。児童が自発的に体力向上に取り組むことができるように支援していきます。お家での取り組みも少しですが増えています。お忙しい中、ありがとうございます。</p>						

11	安全 【健やかな心と体】	児童	自分は、廊下を歩いて安全に気を付けている。	R5①	49%	29%	20%	2%
				R5②	46%	33%	20%	2%
		保護者	お子さんは、安全に気を付けて生活するように努めている。	R5①	33%	36%	24%	3%
				R5②	43%	29%	20%	9%
		職員	子どもたちは、廊下を歩き安全に気を付けている。	R5①	56%	33%	11%	
		R5②	29%	43%	29%			
		学運協	子どもたちは、地域で安全に気を付けて過ごしている。	R5①	40%	60%		
				R5②	40%	40%	20%	
廊下歩行については少しずつ改善傾向にあります。アンケートの結果から校外でも安全に気をつけて生活していることがわかり、指導の成果があったと嬉しく思います。今後も継続して指導を行っていきます。								

12	地域連携教育 【確かな学力】	児童	地域の人にあいさつをしたり、地域の人との勉強にとりくんだりしている。	R5①	64%	18%	9%	4%	4%
				R5②	67%	15%	9%	4%	4%
		保護者	学校では、地域と交流を深めながら、学校支援、地域貢献を進めている。	R5①	46%	39%	12%	3%	
				R5②	57%	29%	9%	6%	
		職員	自分は、地域人材を活用するとともに地域貢献を視野に入れた取り組みをしている。	R5①	44%	33%	11%	11%	
		R5②	29%	57%	14%				
		学運協	学校では、地域と交流を深めながら、学校支援、地域貢献を進めている。	R5①	80%	20%			
				R5②	40%	60%			
		一年間を通して、様々な行事や場面で、たくさんのご協力をいただきましたことに、大変感謝しております。学級編成上、これまでの取組を変更することもあります。地域カリキュラムに位置づけたこと、地域の方とこれまでにつないだ絆やふるさとに対する愛着心を高めていけるような取組を続けていきたいと考えています。引き続き、ご協力よろしくお願いします。							
13	業務への取り組み 【総務】	職員	自分のもつクラスや校務分掌等の仕事を効率よく行っている。	R5①	11%	67%	22%		
				R5②	14%	71%	14%		
		「向陽小すっきり作戦」と銘打って、来年度に向けた「働き方改革」を進めました。現在行っている教育活動はすべてに意味があるのは分かったうえで、今取り組まなければならないあたらな課題や今後起こるであろう新たな課題に対応するために「勇気をもって」業務改善を進めています。保護者・地域の方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。							

意見・質問（保護者）

意見・質問①	元気っ子習慣、読書週間、野菜食カレンダーなど、あまり家庭のことを学校で管理しないでほしい。日々の家事育児や家庭学習の手伝いだけで手一杯で、そこまで頭が回らない。家庭内で、普段できる限り気をつけていることがらなので、記録して学校に提出などはやめてほしい
回答① 【健やかな体と心】	向陽っ子元気週間チェックに関しては、児童が基本的な生活習慣を身に付けることができるようになるために、自分の生活を見直す一助として実施しています。来年度はご家庭での負担を少しでも減らすために、項目の精査を検討しています。野菜カレンダーについては夏休みに長門市学校給食センターからお願いされているものですので、学校だけでは判断できません。ご意見をお伝えしておきます。
意見・質問②	宿題が少ないように感じる。
回答② 【確かな学力】	学習へのペースや量などに個人差があります。担任としては、学級のみんなが取り組むことができる内容や量を考えて宿題を出していますので、足りないお子さんにつきましては、宿題として出していなくても自主学習や読書などに取り組んでいただけたらと思います。
意見・質問③	学年相応に、力がつくような課題を出して頂いて大変ありがたいです。今後ともよろしく願いいたします。
回答③ 【確かな学力】	3学期はスキルタイムを実施し、学力向上のため複数の教員で少人数の子どもたちの学びを高める取組も行っています。個別最適な学びになるよう、今後も取り組んでいきたいと思ひます。
意見・質問④	本アンケートのウェブ回答、アプリでの欠席連絡、おたよりのPDF配信など、学校のIT化が目覚ましく進んでおり、大変ありがたいです。引き続きよろしくお願ひします。
回答④ 【総務】	学校からのお知らせをマチコミでさせていただく機会を増やしました。また、アンケート等への回答もその中でさせていただくこともありました。慣れない部分もおありでしょうが、ご理解いただけて有難く思ひます。業務改善やペーパーレス等への対応です。今後も増えていくとも思ひますが、ご理解いただき、メールの確認をよろしくお願ひいたします。

<p>質問・意見⑤</p>	<p>向陽小の修学旅行には同行カメラマンがいないと聞きました。その代わりとして、児童には使い切りカメラの持参が許可されているのだと思うのですが、いまの時代、使い切りカメラを販売している店が少ない、子どもも親も使い慣れていない（当日いきなり本番でうまく写せない可能性大。室内でフラッシュたいていなかったとか…）、本体2,000円に現像プリント2,000円で4,000円近くかかるが、それなら安いデジカメが3,000～5,000円で売ってる、デジカメならその後も繰り返し使用可能、と、さまざまな側面から考えまして、デジカメも悪くないように思います。ぜひ選択肢の一つに入れていただくと嬉しいです。もちろん、破損紛失のご心配があるかと思うので、保護者による承諾書の提出が条件だと思います。デジカメをすでに持っている家庭はわざわざ新たに購入する必要もないので、とても助かります。ご検討のほど、よろしくお願いします。</p>
<p>回答⑤ 【確かな学力】</p>	<p>ご指摘のとおり、デジカメには「繰り返し使える」「その場で撮った写真が確認できる」等の良さがあり、「高価なものもある。」「壊れた場合の補償」等の問題があります。一方、使い切りカメラは「安価」「壊れにくい」等の良さがありますが、「使い慣れていない」「撮った写真の確認ができない」といった問題があります。</p> <p>それぞれに良し悪しがあるので、令和7年度の修学旅行に向け、保護者・子どもの意見も含めて検討していきたいと思います。</p>